

全国連盟通信

発行責任者 置田康典
長井健治
福島宏子

TEL : 03-5834-8726

Eメール : zenkoku@njsf.net

〒114-0014 東京都北区田端1-24-22 山柿ビル3F

http://www.njsf.net

巻頭言

「スポーツマン」という表現は適切？ “ジェンダー平等” 多くの学習必要

3月13日に開催された第35回定期総会は、2020年に引き続き、オンライン開催となりましたが、「スポーツ活動を取りもどし、前進に向けてふみだそう」のスローガンのもと論議が行われ、新たな方針、予算が採択されました。オンライン総会に参加していただいた方々には、改めてお礼申し上げます。

35期のとりくみの一つである“ジェンダー平等”は、学習とともに課題を具体化することが求められています。

“ジェンダー平等”の課題の一つに、語意そのものに男女の性別が含まれている表現があり、こうした語は、性別を問わない表現に置き換える動きが進んでいます。特に、英語を公用語とするアメリカにおいては、その傾向は強く、「man」(マン)を男女共通である「person」(パーソン)などに置き換える表現が定着してきています。日本においても「キーマン(key man)」→「キーパーソン(key person)」のように比較的定着している表現もある一方で、「チェアマン(chairman)」(議長などの長)→「チェアパーソン(chairperson)」のように、ほとんど浸透していない言葉も存在します。

ここで、「スポーツマン(sportsman)」について、少し考えたいと思います。英語

の「sportsman」は、「sportsperson」や「athlete」などに置き換わる傾向になっています。しかしながら、日本語で「スポーツマン」を「スポーツパーソン」と置き換えるようなことは皆無で、「アスリート」への置き換えが一般的であります。まだまだ「スポーツマン」の表現を多く目にします。英語の「sportsman」は、広義の「スポーツをする人」を表しているのに対して、「athlete」は「競技者、選手」といった意味合いが強くなります。つまり、すべてのアスリートはスポーツマンではありますが、すべてのスポーツマンがアスリートではありません。ここに、日本語において「スポーツマン」を単純に「アスリート」に置き換えることができない背景があり、まだまだ日本で「スポーツマン」が用いられている理由の一つではないかと考えます。

“ジェンダー平等”の一端として、「man」を含む表現について考えてみましたが、言葉ひとつでも、ジェンダーに係る問題の深さを痛感しました。今後、“ジェンダー平等”に取り組んでいくにあたっては、多くの学習が必要であり、そこから得られた知識や情報を発信することで、皆さんと共に考えていきたいと思えます。

(新日本スポーツ連盟理事長 置田康典)

ジェンダー平等を
実現しよう



スポーツ活動をとりもどし 前進に向けてふみだそう



第35回定期全国総会は3月13日、新型コロナウイルス感染により各地の取り組みが困難になっている状況のなかで開催され、「スポーツ活動をとりもどし、前進に向けてふみだそう」を総会スローガンに、今後の取り組み方向が論議され、新たな方針、予算が採択されました。

Zoom活用 オンライン会議

前回につづき今総会もオンラインでの開催を余儀なくされました。午前11時から昼食を挟んで午後5時までと長時間に及びましたが、参加者の集中を切らすことない討論、運営へのご協力で、混乱なく終わることができました。

総会には16団体、10個人の方々から連帯のメッセージをいただき、賛助会員の日本勤労者山岳連盟から新事務局長・小池藍さんのご出席、ご挨拶がありました。

議案提案は事前にYouTubeで動画配信。それぞれがコンパクトにまとめられ、オンライン総会を補足するものとなりました。

討論では、17人(9種目)からの発言があり、コロナ禍での苦労の中でも工夫をした取り組みに努力してきたことが話されました。神奈川県連盟からは、県立スポーツセンター利用に関する要綱の一方面的

な変更により、新日本スポーツ連盟神奈川県連盟は「スポーツ団体の定義に該当しない」とされたことを報告。地方自治体が地域スポーツ団体に目が向いていない状況について課題を提起しました。

また、全体討論の他に、Zoom機能の活用して、5～6名で14の小グループでの分散会を実施。「スポーツ活動をとりもどし、前進に向かってふみだすには？」をテーマに、各グループで討論しました。今回の形式はすべての代議員に発言が保証でき、今後も活用できることが分かったことは良かった点です。

規約改正と新たな役員体制

総会に向けて、2年間で7回にわたり組織検討委員会で「複数代表制」について討議されてきました。

検討された複数代表制の目的、移行への規約改正案が提案され、決定されました。その新たな規約にもとづき、役員選考委員会から役員候補が提案されました。投票に付された結果、選挙管理委員会から初の女性理事長を含む3人の理事長、4人の副理事長と事務局長、24人の理事、2人の監事、全員の信任が報告されました。

目標としてきた女性理事の増員は実現できませんでしたが、ひきつづき追求する課題となっています。この結果、複数代表制という新たな機構と新役員での出発となりました。

全国総会へのメッセージ

スポーツ連盟の活動は創立からこれまで、多くの団体や個人、学者・研究者の方々との協力や連帯の中で活動が継続できてきました。こうした連帯や協力・共同は、

全国総会の様子 (Zoom画面)



今日でも継続され、スポーツ連盟の活動を激励、支えていただき、活力ともなっています。ありがとうございました。お礼申し上げます。

<団体>

日本勤労者山岳連盟、学校体育研究同志会、原水爆禁止日本協議会、日本うたごえ全国協議会、子どもの権利・教育・文化全

国センター、全国商工団体連合会、全国生活と健康を守る会連合会、全国保険医団体連合会、全国労働組合総連合、全日本教職員組合、全日本民主医療機関連合会、東京地方労働組合評議会、国家公務員労働組合連合会、日本青年団協議会、農民運動全国連合会、日本民主青年同盟中央委員会

<個人>

伊藤高弘(新日本スポーツ連盟顧問)、内海和雄(一橋大学・広島経済大学 名誉教授)、緒方靖夫(日本共産党副委員長)、亀山統一(琉球大学農学部助教、スキーマイト連続執筆者、沖縄県0-50サッカーリーグ登録選手)、小林秀一(プロボクシング・元ウエルター級チャンピオン)、高巢博文(「スポーツのひろば」元編集長)、「スポーツ弁護士のぶさん」こと辻口信良、畑野君江(日本共産党スポーツ委員会責任者 前衆議院議員)、深野一郎(福岡県)、森川貞夫(広島国際大学客員教授)

(敬称略)



全国保険医団体連合会から
いただいた祝電

総会グループディスカッションから

今年の総会では議案の内容をより深く掘り下げるために特にテーマを絞ることなくグループに分かれディスカッションを行いました。リモートではなかなか話しにくいとの声もある中で一つの試みでしたが、果たしてその効果は…。

ディスカッションで出た言葉を拾い集めてみました。この中に皆さんの活動に生かせるヒントがあるかもしれません…。



コロナ禍の中、工夫は？

●ここ1年のスポーツ連盟活動の実態は「粘り強い」と感じている。苦しい中でもやれることを皆で考えているからではないか？「(マラソン大会での)パラパラスタート」「1人でウォーク、皆で交流」など、新たな形を試した。

●施設は使えるが、コロナ禍では運営側が大変なので大会を中止して、まる2年。いかに打開していくか考えなければ。会員の登録維持を考え、休日に大会開催。大幅に会員が減り、今年度もあまり戻っていない状況。

●「スポーツをしたい」という気持ちを汲んで大会を4、5回開催。減少をくい止めるために登録費の値下げを実施。インターネットで参加を呼び掛け。選手が会社から「参加を控えるように」と言われる事態もある。

●自粛の期間中、バーチャルツアーなどさまざまな企画を考えて実行してきた。

コロナ禍でも、新規入会者はある。ホームページの特徴は「文章は少なく写真を多く」。インスタグラムを始めて、人を引き付けるような、ユニークなフレーズをみんなと相談しながら考えて付けるようにしている。メールでの問い合わせに対して丁寧に。

- スキーは雪不足とコロナのためこの2年は大会が厳しかった。ジェンダー平等、気候変動危機、SDGsが大切だと思う。
- クラス分けした大会を開催することで、何回も試合ができ、楽しめるようになる。
- 多くの大会が中止になる中で卓球ができる場を提供することで信頼関係ができ、加盟が戻ってきている。

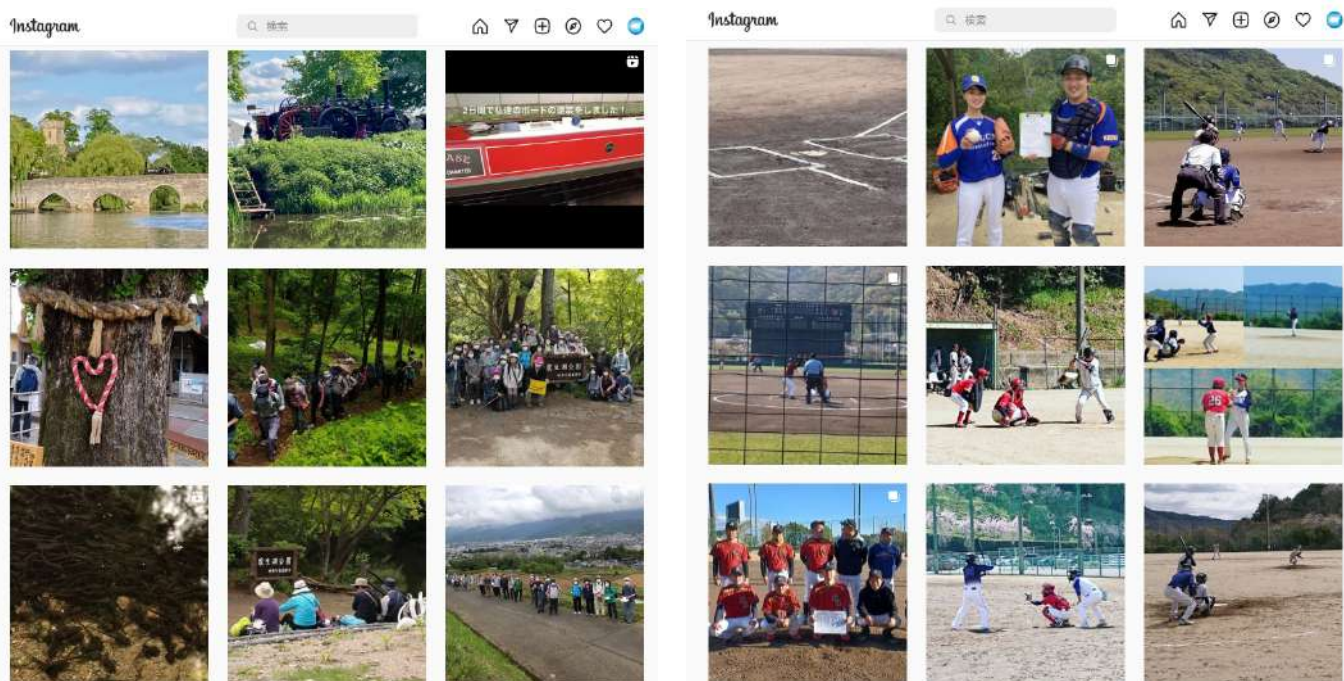
いろいろなことにチャレンジ

- 事務所を引っ越して財政の立て直しを。スポーツ連盟らしい事業(ビビチッタ)をして会員を増やしたい。年代別でタイムを競う新春マラソンを行いたい。
- 野球は審判員の高齢化が課題。スキーはグループLINEを活用。ただし、ホームページが活用されていない。
- Zoom会議のよさは、顔を見ながら話せること。この状況で情報の共有できる。登録人数の底上げには、アイデアを出さないといけない。

●参加する方のエントリーに負担をかけるのか、送料をかけないか配慮。ホームページを有効活用。要項・エントリー用紙ダウンロード、申込はメールで受付。

前進に向けて一歩前に踏み出すには？

- コロナで会員数が減っているが現状維持が保てるように思考錯誤。世代交代をしようと思っているがなかなか難しい。
- 連盟員が半分になったが、各種目の努力により少しずつ戻ってきている。2000名目標にチャレンジしてスポーツ活動を広めていきたい。
- 「スポーツを止めない！」を目標に。
- 金沢市でスキー場の活性化を目指す協議会に参加。スポーツ連盟も一緒にメンバーになって協力してほしいと声を掛けられた。普段からスキー場での施設改善要求などをしてきた成果だと。
- 自治体交渉を積極的に行っている。最近市議会議員さんとの懇談を行いながら、市に対応も求めるようにしている。
- 高齢になってもスポーツを続けたいという要求にスポーツ連盟が応えることが求められる。イベントなどで楽しみを見つけられるようにすることも大切、そしてその環境整える活動も必要。



Instagramは写真を魅せるSNS(20~30代に人気) 左は神奈川ウォーキングクラブ、右は高知野球協会のインスタ

複数代表制での理事会スタート

第35回全国総会後の「第1回理事会」が、4月16日オンライン会議で行われ、26名が出席し、今期理事会の出発となりました。開会にあたって、置田康典理事長は「複数代表制で3人の理事長で活動する運びに。活動を進めるにあたっては、スピードを重視したい」と挨拶しました。

今回は、全国総会の総括を行い、機構と役割分担の基本的な考え方、各局の理事の配置を確認(下記参照)。また、第34回全国スポーツ祭典準備状況や、沖縄県連盟発足にむけて準備会を結成したことの報告がありました。

機構・分担の基本的な考え方

●理事会は、第35回定期全国総会方針を具体化した活動を執行するために、①スポーツ活動・組織局 ②スポーツ権・平和運動局 ③国際活動局 ④広報局 ⑤総務局の5局を中心とした運営を行います。

●共同代表(理事長)の役割分掌は、「スポーツ活動・国際活動・全国スポーツ祭典」「総務・広報」「スポーツ権・平和」の3セクションに分けて担当する案をベースに試行し、第35期の期間中に明確化していきます。

●各委員会、プロジェクトなどは、各局の担当枠をこえたメンバー構成で運営します。

●各局の活動を推進するために必要な場合、あるいは理事会が必要と認める委員会などの活動は、理事以外の部員、委員を委嘱することとします。

5局(+研究所)の役割と運営

①スポーツ活動・組織局

スポーツ活動前進とその組織化について、具体的方針の提案、活動の把握、分析を行います。各都道府県連盟、各全国種目

組織のスポーツ活動内容の把握し、全国的課題などについての調整、支援し、組織拡大の前進を目指します。

メンバー：宮内(局長)、関戸、青木、穴原、石川、大淵、柿崎、菅原、富内、橋本、山下

②スポーツ権・平和運動局

スポーツ活動前進のための条件の整備のための活動、スポーツ活動における人権擁護、フェアプレーの普及とともに、平和に貢献する活動に取り組みます。

メンバー：青沼(局長)、神田、大田、太田、岡本、小林

③国際活動局

スポーツを通じて交流と友好を促進するため、国際活動方針の具体化、国際的なスポーツ情報の収集、検討、スポーツ連盟における国際活動の教訓化を行います。

メンバー：長井(局長)、小川、桂、玉尾(部員)伊賀野、佐藤静雄、佐藤好行、平尾、松野、藪並

④広報局

4ツール(「ひろば」、HP、「全国通信」、ニュース)を中心に、方針実現に向けた取り組みを促進し広げ、つなげるために発信していきます。

メンバー：園川(局長)、大森、小山、前川、渡辺

⑤総務局

スポーツ連盟の実務を円滑に行うために、財政、見舞金、「ひろば」読者管理などに取り組みます。また、各局に該当しない取り組みへの対応、事務局対応を行います。

メンバー：佐藤(局長)、佐々木、渋谷、鈴木、根岸(部員)板垣

⑥スポーツ科学研究所

市民のためのスポーツ科学とその体制の創造・発展に寄与する研究を進めます。

所長：山崎健 事務局長：青沼裕之

国・自治体への要請内容を まとめた冊子を発行



スポーツ権・平和運動局は、2020年～2022年で新日本スポーツ連盟全国連盟・都道府県連盟が国や自治体に要請した内容とその回答をまとめた冊子を作成しました。各都道府県連盟で、どのような要請をしているか参考にしてください。

自治体への要請・交渉のおおまかな流れとしては、以下の通りです。

- ①各種目組織・クラブからの要望(施設に関することなど)を集める。
- ②自治体の「スポーツ振興計画」や「スポーツに関する予算」を調べ、市民スポーツを対象とした施策がどのくらいあるかを検証する。

- ③①、②をもとに、要請文書を作成する。
- ④要請文書のなかで、重要と思われる事項についての署名を集める。
- ⑤要請文書、署名を自治体(首長)に提出する。
- ⑥要請に対する回答、懇談を要請する。
- ⑦懇談して、再度の要請、交渉をする。

いま、全国各地での施設利用の課題が山積しています。多様なスポーツ活動をつくり、スポーツの楽しさを広げるために、すべての都道府県連盟が地域スポーツ振興にむけたスポーツ要求に関する自治体交渉を定期的に行えるよう、協力して積極的に取り組んでいきましょう。

新日本スポーツ連盟の国・自治体への要請内容と回答 — 2020年～2022年 —

●新日本スポーツ連盟全国連盟

- ・「スポーツ事業継続サポート事業(スポーツ事業継続支援補助金)」審査方法の改善と促進についての要望
- ・「スポーツ活動継続サポート事業」(スポーツ庁)継続の要望
- ・2022年度スポーツ関連予算案と国のスポーツ振興策への質問と要望

●岩手県連盟

- ・岩手県民のスポーツ環境の改善に関わる要望
- ・盛岡市民のスポーツ環境の改善に関わる要望

●宮城県連盟

- ・東京オリンピック2020会場である宮城スタジアムを無観客とするよう要望書

●市民のスキー場を考える会(新潟県スキー協)

- ・市長と語るん会

●石川県連盟

- ・金沢市宮医王山スキー場の整備と施設の改善・新設を求める要望書

●千葉県連盟

- ・千葉県 スポーツ施設改善等での知事との懇談について
- ・千葉市 スポーツ施設改善等での市長との懇談について

●東京都連盟

- ・東京都のスポーツ政策に関する要請
- ・北区連盟 対区交渉 新宿区連盟 対区交渉
- ・新宿区 文化・スポーツ施設の使用料金軽減を求める要

望書

●神奈川県連盟

- ・2021年度にむけたスポーツ分野の対神奈川県交渉
- ・2022年度に向けた対神奈川県要求(スポーツ分野)と回答
- ・県立スポーツセンター再整備後利用における新日本スポーツ連盟への差別的な対応の撤回要求
- ・要請書「スポーツ基本法」を真に実効あるものにするために神奈川県で起こっていることをご報告し、その是正を求めます
- ・県立スポーツセンター利用調整についての質問
- ・横浜市スポーツ振興課との面談

●和歌山県連盟

- ・和歌山市のスポーツ行政について懇談の申し入れ

●滋賀県連盟

- ・蒲生球場の施設改善のお願い

●兵庫県連盟

- ・兵庫県 2022年度(令和4年度)スポーツ関係要望書の回答について
- ・神戸市 2021年度(令和3年度)スポーツ関係要望書に対するご回答について
- ・神戸市からのガバナンスコード公表説明について

●スポーツ科学研究所

- ・シンポジウム「革新自治体の誕生と地域スポーツ運動の発展」の主旨説明文
- ・中野区のスポーツ施策の変化-年表

2022年5月～12月

第35期 主要事業予定一覧

全国会議・事業

都道府県連盟・全国種目組織

2022年5月	2日	全国スポーツ祭典事務局会議	
	12日	第2回三役会議	
	14日		和歌山県連盟総会／宮城県連盟総会／滋賀県連盟総会
	21日		全国ウォーキング協議会総会
	28～29日		全国選抜軟式野球大会（静岡）
6月	6日	「スポーツのひろば」7・8月号発行	
	5日		名古屋一周平和大好きマラソン
	11日		富山平和マラソン
	18日		東京平和マラソン
	19日		三重県連盟総会／全国卓球協議会総会
	26日		兵庫県連盟総会／愛知県連盟総会
7月	3日		大阪平和マラソン
	16日		大阪府連盟総会
	17日		千葉平和マラソン
	24日		北九州にこにこペースの平和マラソン
8月	2日	「スポーツのひろば」9月号発行	
	6～8日		広島～長崎平和マラソン
	7日		あいち反核・平和マラソン&ジョギング
	20～21日		全国バドミントン団体戦（東京）
	27日	第2回理事会	
9月	1日	「スポーツのひろば」10月号発行	
	4日		宮城平和マラソン
	24～25日		全国スポーツ祭典ソフトボール大会（岡山）
	25日		京都平和マラソン
10月	3日	「スポーツのひろば」11月号発行	
	22～23日		全国スポーツ祭典軟式野球大会（高知）
	30日		全国スポーツ祭典ウォーキングフェスティバル（高知）
11月	1日	「スポーツのひろば」12月号発行	
	3日		全国スポーツ祭典水泳大会（東京）
	5～6日		全国スポーツ祭典バドミントン大会（静岡）
	5～6日		全国スポーツ祭典サッカー大会 一般（大阪）
	12～13日		全国スポーツ祭典シニアサッカー大会（宮城）
	12～13日		全国スポーツ祭典テニス大会（高知）
	19～20日		全国スポーツ祭典バレーボール大会（岡山）
	20日		全国スポーツ祭典シニアサッカー大会60（徳島）
12月	3日	第3回理事会	
	4日		富山県連盟総会
	10～11日		全国スポーツ祭典ミックスバレーボール大会（静岡）
	11日		愛知・高蔵寺弾薬庫一周平和マラソン
	17～18日		全国スポーツ祭典卓球大会 一般の部（岡山）



スポーツは
平和とともに！

全国連盟のスケジュールは、PCやスマホから見ることができます（googleカレンダー）。右記のQRコードから。

